

平成 29 年度事業報告

(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで)

1) 平成 29 年度助成事業について

(1) 若手芸術家の在外研修に対する助成

① 募集 (募集期間、平成 28 年 10 月 3 日～11 月 11 日)

- ア. 美術系大学、美術館等約 300 施設に周知方を依頼した。
- イ. 文化機関、画廊等約 30 箇所に周知方を依頼した。
- ウ. 新聞、Web 媒体、美術専門誌約 150 社に募集掲載を依頼した。

② 選考・審査

応募は、116 件であった。

- ア. 次の評価要素等を勘案し、分担審査によって第一段審査、次いで全選考委員によって第二段審査を行った。
 - a. 発想の独創性
 - b. 研修計画の実現性
 - c. 美術界への貢献度
 - d. 財団の助成対象としての適合性
- イ. 平成 29 年 2 月 13 日開催の第 9 回選考委員会における合議によって、18 名の助成候補者を選定し、選考委員長は理事長に報告した。
- ウ. 理事長は、同報告にもとづき、平成 29 年 2 月 27 日、助成対象者 15 名を決定し、本人に通知した。(助成額 44,020 千円)

(2) 在外研修終了後の成果発表 (展示会開催) に対する助成

① ポーラミュージアムアネックス展 2017 繊細と躍動

- ア. 開催期間 平成 29 年 3 月 31 日～4 月 23 日 (24 日間)
- イ. 開催場所 ポーラ銀座ビル 3 階 ポーラミュージアムアネックス
- ウ. 出展作家 4 名
- エ. 入場者数 2,602 名 (レセプション含む)
- オ. 助成金額 6,921 千円

② アトリウム ギャラリー展 GIRLS START THE RIOT

- ア. 開催期間 平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 1 月 8 日 (100 日間)
- イ. 開催場所 ポーラ美術館 アトリウム ギャラリー
- ウ. 出展作家 1 名
- エ. 入場者数 16,984 名
- オ. 助成金額 6,667 千円

③アトリウム ギャラリー展

KEI TAKEMURA Which second is the most excited?

- ア. 開催期間 平成 30 年 1 月 13 日～3 月 11 日 (58 日間)
- イ. 開催場所 ポーラ美術館 アトリウム ギャラリー
- ウ. 出展作家 1 名
- エ. 入場者数 3,598 名
- オ. 助成金額 4,386 千円

④ポーラミュージアムアネックス展 2018 無明と可視

- ア. 開催期間 平成 30 年 2 月 23 日～3 月 18 日 (24 日間)
- イ. 開催場所 ポーラ銀座ビル 3 階 ポーラミュージアムアネックス
- ウ. 出展作家 4 名
- エ. 入場者数 2,911 名 (レセプション含む)
- オ. 助成金額 7,058 千円

⑤アートフェア東京 2018

- ア. 開催期間 平成 30 年 3 月 9 日～3 月 11 日 (3 日間)
- イ. 開催場所 東京国際フォーラム ホール E
- ウ. 出展作家 4 名
- エ. 助成金額 6,219 千円

(助成額計 31,251 千円)

(3) 美術館職員の調査研究に対する助成

① 募集 (募集期間、平成 28 年 10 月 3 日～11 月 11 日)

- ア. 美術館、博物館等約 300 施設に周知方を依頼した。
- イ. 文化機関、画廊等約 80 箇所に周知方を依頼した。
- ウ. 新聞、Web 媒体、美術専門誌約 150 社に募集掲載を依頼した。

② 選考・審査

応募は、35 件であった。

- ア. 次の評価要素等を勘案し、分担審査によって第一段審査、次いで全選考委員によって第二段審査を行った。

- a. 発想の独創性
- b. 研修計画の実現性
- c. 美術界への貢献度
- d. 美術館充実への貢献度
- e. 財団の助成対象としての適合性

- イ. 平成 29 年 2 月 13 日開催の第 9 回選考委員会における合議によって、12 件の助成候補者を選定し、選考委員長は理事長に報告した。

- ウ. 理事長は、同報告にもとづき、平成 29 年 2 月 27 日、助成対象者 12 件を決定し、本人に通知した。(助成額 21,360 千円)

(4) 美術に関する国際交流助成

① 募集（募集期間、平成 28 年 10 月 3 日～11 月 11 日）

- ア．美術館、大学等約 300 施設に周知方を依頼した。
- イ．文化機関、画廊等 80 箇所に周知方を依頼した。
- ウ．新聞、Web 媒体、美術専門誌約 150 社に募集掲載を依頼した。

② 選考・審査

応募は、67 件であった。

- ア．次の評価要素等を勘案し、分担審査によって第一段審査、次いで全選考委員によって第二段審査を行った。
 - a．主催者ないし主催団体
 - b．会議のテーマと実績
 - c．全体の規模と参加者
 - d．会議の成果と、その成果の公表方法
- イ．平成 29 年 2 月 13 日開催の第 9 回選考委員会における合議によって、12 件の助成候補者を選定し、選考委員長は理事長に報告した。
- ウ．理事長は、同報告にもとづき、平成 29 年 2 月 27 日、助成対象者 12 件を決定し、本人に通知した。（助成額 21,650 千円）

(5) 助成対象者に対する贈呈式・懇親会の開催

平成 29 年 4 月 17 日、ポーラミュージアムアネックス（東京都中央区銀座 1-7-7）において、当財団関係者出席のもと第 22 回助成金贈呈式を開催し、理事長より助成対象者へ目録の贈呈を行った。引続き同ビル内において懇親会を開催した。

2) 美術館事業について

(1) 企画展

- ・平成 29 年 4 月 1 日～9 月 24 日
開館 15 周年記念展「ピカソとシャガール 愛と平和の讃歌」展開催。
（会期：平成 29 年 3 月 18 日～9 月 24 日）
来館者：129,542 人
- ・平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 3 月 11 日
開館 15 周年記念展「100 点の名画でめぐる 100 年の旅」展開催。
（会期：平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 3 月 11 日）
来館者：91,242 人
- ・平成 30 年 3 月 17 日～3 月 31 日
「エミール・ガレ 自然の蒐集」展開催。
来館者：7,872 人

(2) 美術館内（講堂、展示室、遊歩道等）でのレクチャー（無料）

① 企画展関連

ア. 「ピカソとシャガール 愛と平和の讃歌」展

平成 29 年 3 月 25 日（土） （参加 35 名）	「ギャラリートーク」 講師 ポーラ美術館学芸課長 今井敬子
平成 29 年 4 月 15 日（土） （参加 32 名）	「ギャラリートーク」 講師 ポーラ美術館学芸課長 今井敬子
平成 29 年 4 月 22 日（土） （参加 100 名）	ゲルニカ 80 年 スペシャルトークイベント 「いまこそ《ゲルニカ》の話をしよう。」 講師 原田マハ（小説家）
平成 29 年 4 月 29 日（土） （参加 90 名）	記念講演会「ピカソとシャガールの生涯—20 世紀最大の劇芸術」 講師 ポーラ美術館館長 木島俊介
平成 29 年 5 月 20 日（土） （参加 26 名）	「ギャラリートーク」 講師 ポーラ美術館学芸員 東海林洋
平成 29 年 6 月 17 日（土） （参加 40 名）	「ギャラリートーク」 講師 ポーラ美術館学芸員 東海林洋
平成 29 年 7 月 8 日（土） （参加 40 名）	「ギャラリートーク」 講師 ポーラ美術館学芸員 東海林洋
平成 29 年 8 月 12 日（土） （参加 35 名）	記念講演会「1930 年代のピカソ—愛と怒りの造形とルーツ」 講師 早稲田大学名誉教授 大高保二郎
平成 29 年 8 月 13 日（日） （参加 26 名）	「彫刻の森美術館×ポーラ美術館クロストーク」 講師 ポーラ美術館学芸員 東海林洋 彫刻の森美術館学芸員 黒河内卓郎
平成 29 年 8 月 19 日（土） （参加 31 名）	「ギャラリートーク」 講師 ポーラ美術館学芸課長 今井敬子
平成 29 年 9 月 9 日（土） （参加 43 名）	「ギャラリートーク」 講師 ポーラ美術館学芸課長 今井敬子

イ. 「100 点の名画でめぐる 100 年の旅」展

平成 29 年 10 月 14 日（日） （参加 35 名）	「ギャラリートーク」 講師 ポーラ美術館学芸課長 岩崎余帆子
平成 29 年 10 月 28 日（土） （参加 60 名）	展覧会記念講演会 「近代美術の祝祭—ポーラ・コレクション」 講師 大原美術館館長 高階秀爾
平成 29 年 11 月 11 日（土） （参加 18 名）	「ギャラリートーク」 講師 ポーラ美術館学芸員 近藤萌絵
平成 29 年 11 月 18 日（土） （参加 30 名）	「スペシャルギャラリートーク：私が選ぶポーラ美術館コレクション ベスト 5」 講師 明治学院大学教授 山下裕二
平成 29 年 12 月 9 日（土） （参加 19 名）	「ギャラリートーク」 講師 ポーラ美術館学芸課長 岩崎余帆子

平成 30 年 1 月 7 日 (日) (参加 のべ 198 名)	「第 6 回ギャラリートーク 駅伝」 箱根駅伝の形式で計 10 回、美術館学芸員 6 名が リレートークを実施。
平成 30 年 1 月 27 日 (土) (参加 18 名)	「スペシャルギャラリートーク:私が選ぶポーラ 美術館コレクション ベスト 5」 講師 結城昌子 (作家)
平成 30 年 2 月 10 日 (土) (参加 18 名)	「ギャラリートーク」 講師 ポーラ美術館学芸員 近藤萌絵
平成 30 年 3 月 3 日 (土) (参加 55 名)	「ギャラリートーク」 講師 ポーラ美術館学芸員 近藤萌絵

② 常設展関連

- 平成 29 年 9 月 2 日 (土) 「よそおいの近代」展関連イベント 結髪実演
(参加 48 名) 実演 林照乃 (結髪師)
解説 ポーラ文化研究所 村田孝子

(3) 美術館外での学芸活動 (講演会等)

生涯学習普及活動の一環として、館員が他の美術館等において、講演会を行っている。

- 平成 29 年 4 月 1 日 (土) 新潮講座神楽坂教室
「芸術新潮 Presents 学芸員に聞く ピカソ×シャガール、巨匠の美対決」
講師 ポーラ美術館学芸員 東海林洋
- 平成 29 年 4 月 15 日 (土) 朝日カルチャーセンター横浜
「開館 15 周年 ポーラ美術館の魅力と楽しみ方」
講師 ポーラ美術館学芸課長 岩崎余帆子
- 平成 29 年 5 月 12 日 (金) 鹿島 KI ビル
第 24 回鹿島美術財団賞授賞式 「エヴァ・グエルの肖像とキュビズム:ピ
カソにおける寓意と物語の回帰」発表者 ポーラ美術館学芸員 東海林洋
- 平成 29 年 10 月 27 日 (土) 東海大学湘南キャンパス
知のコスモス講演会「近代日本における『よそおい』の文化—欧米の影響
と新時代の女性像—」 講師 ポーラ美術館学芸員 山埜菜未
- 平成 30 年 3 月 24 日 (土) 日本女子大学目白キャンパス
学芸員が語る服飾展シンポジウム「ファッションと美術館Ⅱ」
「美術館の展覧会と「新しさ」—ポーラ美術館「Modern Beauty」展を通して考
えたこと」 発表者 ポーラ美術館学芸課長 岩崎余帆子

授業の一環として美術館を利用する際の優遇措置

- ① 小中学生が授業の一環として利用する際の入館料無料 (引率教員を含む)
平成 29 年 4 月から平成 30 年 3 月までの利用者数 499 名 (前年 373 名)

- ・平成29年 5月26日（金） 寄居町立寄居小学校（児童・教員 47名）
- ・平成29年 5月30日（火） 港区立港南小学校（児童・教員 37名）
- ・平成29年 6月 2日（金） 港区立港南小学校（児童・教員 63名）
- ・平成29年 6月23日（金） 港区立筭小学校（児童・教員 69名）
- ・平成29年 7月10日（月） 国本小学校（児童・教員 106名）
- ・平成29年 7月27日（木） 小田原市立橋中学校（児童・教員 9名）
- ・平成29年 7月31日（月） 箱根町立箱根中学校（児童・教員 18名）
- ・平成29年 8月 7日（月） 静岡市立城内中学校（児童・教員 14名）
- ・平成29年 8月 9日（水） 神奈川県立相模原中等教育学校（児童・教員 9名）
- ・平成29年 8月29日（火） 実践女子学園中学校（児童・教員 25名）
- ・平成29年 9月14日（月） 茂原市立東部小学校（児童・教員 10名）
- ・平成29年 10月5日（木） 港区立御田小学校（児童・教員 7名）
- ・平成29年 11月2日（木） 箱根町立仙石原小学校（児童・教員 26名）
- ・平成30年 2月14日（水） 函嶺白百合学園中等部（児童・教員 36名）
- ・平成30年 3月17日（土） 函南町立東中学校（児童・教員 23名）

② 土曜日の小中学生無料（地域に関係なく全国の小中学生を対象）

平成 29 年 4 月から平成 30 年 3 月までの利用者数 2650 名（前年 1047 名）

（４） ワークショップ(参加学習)

- ① 子どものためのワークショップ（無料）
 - ・平成 29 年 8 月 11 日（金） 「夏休み子ども美術鑑賞会」
子ども 28 名、保護者 25 名参加
- ② 学校授業の一環としてのワークショップ（無料）
 - ・平成 29 年 7 月 13 日（木） 「静岡理工科大学事前レクチャー（出張）」
学生 39 名、教員 1 名参加
美術館での鑑賞に向けて、学芸員がレクチャーを行った。
 - ・平成 29 年 8 月 4 日（金） 「静岡理工科大学レクチャー」
学生 39 名、教員 1 名参加
学芸員による「ピカソとシャガール」展のレクチャー及びワークシートを作成し発表を行った。
 - ・平成 29 年 7 月 31 日（月）、8 月 7 日（月）「箱根町立箱根中学校 鑑賞教室」
学生 32 名、教員 2 名参加（合計）
「ピカソとシャガール」展に関するワークシートを作成し発表を行った。

(5) 美術館内サービス

①情報コーナー

館内情報コーナーに設置の 5 台のパソコンにて「収蔵品案内」を公開。約 1,100 点の作品の検索が可能。展示に沿った解説、作品の細部まで鑑賞できる高精細画像に加え、画家の制作の背景を紹介した動画が好評。小学校低学年でも操作可能なため、教育効果が高い。

②『小中学生のための鑑賞ガイド』

学芸部の教育普及担当と企画展担当者の連携により、小中学生向けの企画展鑑賞ガイドを製作、入館時に受付で配布している。子ども向けの普及活動として一定の効果をあげている。

3) その他の事業について

当財団収蔵の美術品を他の展覧会に出品した。(貸出作品 合計 43 点)